

下 水 道 事 業 会 計

目 次

我孫子市下水道事業会計決算審査意見	63
第1 審査を執行した監査委員名	63
第2 審査の対象	63
第3 審査の期間	63
第4 審査の場所	63
第5 審査の方法	63
第6 審査の結果	63
1 決算諸表について	63
(1) 予算の執行状況	64
ア 収益的収入及び支出	64
イ 資本的収入及び支出	65
2 経営状況について	66
(1) 経営成績	66
ア 業務実績	66
イ 事業収益と費用	67
ウ 収益率・効率性	69
エ 職員に関する事項	69
(2) 財政状況	69
ア 資産・負債・資本・資金運用	69
イ 財務分析	72
3 審査意見	73
(1) 業務実績	73
(2) 経理状況（消費税込み表示）	73
ア 収益的収支	73
イ 資本的収支	73
(3) むすび	74
《決算審査資料》	
付表1 総収益総費用比較表	76
付表2 比較貸借対照表	78

凡 例

① 各表中の符号の用法は、次のとおりである。

「△」 …… 減を示している。

「—」 …… 該当数値のないものである。

「0.0」 …… 該当数値はあるが表示単位未満のものである。

「同規模平均」 …… 令和4年度の処理区域内人口10万人以上15万人未満かつ処理区域内人口密度75人／ha以上の全国平均を示している（公共下水道事業）。

② 比率（％）は、小数点第2位を四捨五入して表示した。

③ 構成比率（％）は、項目ごとに小数点第2位を四捨五入したため、合計が100（％）とならない場合がある。

④ 各文章中の説明は、原則として科目名等を高額又は高率順に記載した。

令和5年度 我孫子市下水道事業会計決算審査意見

第1 審査を執行した監査委員名

山口 幹夫
茅野 理

第2 審査の対象

令和5年度我孫子市下水道事業会計

第3 審査の期間

令和6年6月13日～令和6年7月26日

第4 審査の場所

我孫子市役所

第5 審査の方法

審査に付された決算諸表が適法に作成され、事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているかどうかを検証するため、関係書類・証書類の提出を求め、決算計数は正確であるかに着目して、証書類を精査照合するとともに必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、慎重に審査した。

第6 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、下水道事業経営成績及び財政状況を適正に表示しており、計数も適正であると認める。

なお、予算の執行状況、経営成績及び財政状況について、その概要と意見は次に述べるとおりである。

(1) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出

収入

(単位：円・%)

区 分	令和 5 年度			令和 4 年度		
	予算現額	決算額	執行率	予算現額	決算額	執行率
営 業 収 益	1,757,151,000	1,741,327,461	99.1	1,736,701,000	1,716,507,431	98.8
営 業 外 収 益	1,289,885,000	1,271,808,963	98.6	1,356,396,000	1,345,086,662	99.2
特 別 利 益	37,363,000	37,363,413	100.0	14,848,000	14,848,656	100.0
合 計	3,084,399,000	3,050,499,837	98.9	3,107,945,000	3,076,442,749	99.0

(消費税込数値)

収益的収入予算現額 3,084,399,000円に対して、決算額は 3,050,499,837円となり、収益的収入の決算額は、前年度と比較して、25,942,912円 (0.8%) 減少となった。執行率は 98.9%となった。

増減の主な内訳は、営業収益決算額は前年度と比較して、24,820,030円 (1.4%)、特別利益は 22,514,757円 (151.6%) 増加となった。

一方で、営業外収益の決算額は前年度と比較して 73,277,699円 (5.4%) 減少した。

支出

(単位：円・%)

区 分	令和 5 年度			令和 4 年度		
	予算現額	決算額	執行率	予算現額	決算額	執行率
営 業 費 用	2,547,405,000	2,513,786,668	98.7	2,547,579,000	2,522,109,252	99.0
営 業 外 費 用	174,770,000	153,413,707	87.8	176,485,000	162,903,597	92.3
特 別 損 失	710,000	378,970	53.4	111,702,000	111,337,513	99.7
予 備 費	19,771,000	0	0	18,984,000	0	0
合 計	2,742,656,000	2,667,579,345	97.3	2,854,750,000	2,796,350,362	98.0

(消費税込数値)

収益的支出予算現額 2,742,656,000円に対して、決算額は 2,667,579,345円となり、収益的支出の決算額は、前年度と比較して 128,771,017円 (4.6%) 減少となった。執行率は 97.3%となった。収支の差額 382,920,492円が収入超過となった。

減少の内訳は、営業費用の決算額は前年度と比較して、8,322,584円 (0.3%)、営業外費用は 9,489,890円 (5.8%)、特別損失は 110,958,543円 (99.7%) 減少した。

イ 資本的收入及び支出

収入

(単位：円・%)

区 分	令和５年度			令和４年度		
	予算現額	決算額	執行率	予算現額	決算額	執行率
企 業 債	962,100,000	549,300,000	57.1	1,036,200,000	514,300,000	49.6
他 会 計 出 資 金	199,582,000	199,582,000	100.0	121,074,000	121,074,000	100.0
他 会 計 補 助 金	216,223,000	216,223,000	100.0	207,766,000	207,766,000	100.0
国 庫 補 助 金	490,296,000	393,950,000	80.3	543,591,000	310,091,000	57.0
負 担 金 等	5,721,000	8,031,660	140.4	13,909,000	16,860,000	121.2
固 定 資 産 売 却 代 金	0	0	0	21,200,000	21,200,000	100.0
合 計	1,873,922,000	1,367,086,660	73.0	1,943,740,000	1,191,291,000	61.3

(消費税込数値)

資本的收入予算現額 1,873,922,000円に対して、決算額は 1,367,086,660円となり、執行率は 73.0%となった。

前年度と比較して決算額が増加した主な内訳は、国庫補助金が 83,859,000円 (27.0%)、他会計出資金が 78,508,000円 (64.8%)、企業債が 35,000,000円 (6.8%) 増加した。一方、減少した内訳は、固定資産売却代金が 21,200,000円 (皆減)、負担金等が 8,828,340円 (52.4%) 減少した。

支出

(単位：円・%)

区 分	令和５年度			令和４年度		
	予算現額	決算額	執行率	予算現額	決算額	執行率
建 設 改 良 費	1,653,372,400	1,012,197,890	61.2	1,727,757,200	922,945,394	53.4
固 定 資 産 購 入 費	3,000,000	0	0	0	0	0
企 業 債 償 還 金	865,527,000	865,526,382	100.0	900,017,000	900,016,313	100.0
予 備 費	7,790,000	0	0	9,908,000	0	0
合 計	2,529,689,400	1,877,724,272	74.2	2,637,682,200	1,822,961,707	69.1

(消費税込数値)

資本的支出予算現額 2,529,689,400円に対して、決算額は 1,877,724,272円となり、執行率 74.2%となった。

なお、資本的収支不足額（翌年度に繰り越される支出の財源に充当する収入額 91,359,000円を除いた不足額）601,996,612円が生じたが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 40,697,918円、繰越工事資金 25,883,400円、当年度分損益勘定留保資金 295,415,294円、減債積立金 240,000,000円で補てんした。

2 経営状況について

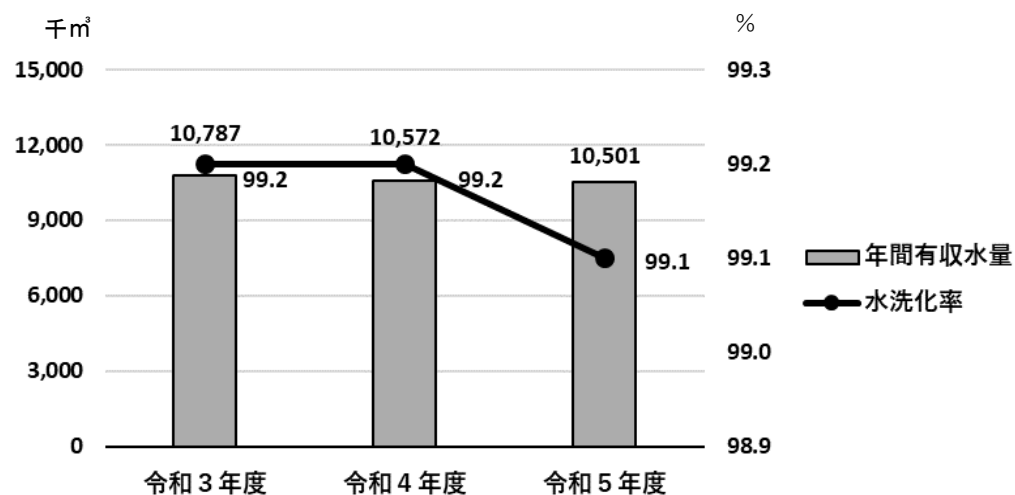
（１）経営成績

ア 業務実績

区分		令和５年度	令和４年度	対前年度		備考
				増減	比較 (%)	
処理面積	ha	1,343.54	1,340.66	2.9	100.2	
行政区域内人口	人	131,262	130,959	303	100.2	
排水区域内人口	人	111,770	111,155	615	100.6	
水洗化人口	人	110,751	110,216	535	100.5	
普及率	%	85.2	84.9	0.3	100.4	$\frac{\text{排水区域内人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$
水洗化率	%	99.1	99.2	△ 0.1	99.9	$\frac{\text{水洗化人口}}{\text{排水区域内人口}} \times 100$
年間有収水量	m ³	10,500,953	10,571,807	△ 70,854	99.3	
一日平均有収水量	m ³	28,691	28,964	△ 273	99.1	

業務実績については、排水区域内人口 111,770人となり、前年度と比較して 615人（0.6%）増加した。行政区域内人口に対する普及率は 85.2%となり、前年度と比較して 0.3%増加し、水洗化率は 99.1%となり、前年度と比較して 0.1%減少した。年間有収水量については、10,500,953m³となり、前年度より 0.7%減少した。

年度別年間有収水量及び水洗化率



イ 事業収益と費用

事業収益

(単位：円・%)

区分	令和5年度		令和4年度	
	金額	構成比	金額	構成比
営業収益	1,591,378,306	54.9	1,567,711,160	53.5
下水道使用料	1,501,120,306	51.8	1,489,601,600	50.9
雨水処理負担金	89,711,000	3.1	77,496,000	2.6
その他営業収益	547,000	0.0	613,560	0.0
営業外収益	1,271,884,457	43.8	1,344,993,984	46.0
他会計補助金	259,968,000	8.9	280,650,000	9.6
長期前受金戻入	1,011,656,743	34.9	1,062,485,533	36.3
雑収益	259,714	0.0	1,858,451	0.1
特別利益	37,363,413	1.3	14,848,656	0.5
過年度損益修正益	37,363,413	1.3	14,848,656	0.5
合計	2,900,626,176	100.0	2,927,553,800	100.0

(消費税抜き数値)

事業費用

(単位：円・%)

区分	令和５年度		令和４年度	
	金額	構成比	金額	構成比
営業費用	2,414,581,271	94.4	2,422,851,488	90.2
管渠費（污水）	63,479,155	2.5	61,040,890	2.3
管渠費（雨水）	10,737,000	0.4	7,403,000	0.3
ポンプ場費（污水）	9,634,860	0.4	9,143,533	0.3
ポンプ場費（雨水）	19,261,508	0.8	19,547,400	0.7
流域下水道費	791,092,194	30.9	798,710,287	29.7
普及指導費	600,164	0.0	651,704	0.0
業務費	95,029,618	3.7	93,899,136	3.5
総係費（污水）	72,838,529	2.9	85,207,310	3.2
総係費（雨水）	5,537,997	0.2	4,885,569	0.2
減価償却費	1,346,370,246	52.6	1,342,362,659	50.0
営業外費用	143,476,932	5.6	152,744,040	5.7
支払利息	125,369,420	4.9	133,598,067	5.0
雑支出	18,107,512	0.7	19,145,973	0.7
特別損失	345,399	0.0	111,310,686	4.1
過年度損益修正損	345,399	0.0	269,252	0.0
固定資産売却損	0	0	111,041,434	4.1
合計	2,558,403,602	100.0	2,686,906,214	100.0

(消費税抜き数値)

当該年度は、総収益と総費用ともに前年度に比べて減少したものの、収支では前年度と比べて 101,574,988円（42.2%）増加し、当年度純利益は 342,222,574円となった。

総収益は 2,900,626,176円で、前年度と比べて 26,927,624円（0.9%）減少した。増減の主な内訳は、過年度損益修正益が 22,514,757円（151.6%）増加し、長期前受金戻入が 50,828,790円（4.8%）、他会計補助金が 20,682,000円（7.4%）減少した。

総費用は 2,558,403,602円で、前年度と比べて 128,502,612円（4.8%）減少した。増減の主な内訳は、減価償却費が 4,007,587円（0.3%）、管渠費（雨水）が 3,334,000円（45.0%）増加し、固定資産売却損が 111,041,434円（皆減）、総係費（污水）が 12,368,781円（14.5%）減少した。

ウ 収益率・効率性

区分	令和5年度	令和4年度	同規模平均 (令和4年度)	算式
経常収支比率 (%)	111.9	113.1	110.6	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
経費回収率 (%)	94.3	93.0	101.6	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}} \times 100$
汚水処理原価 (円)	150.0	150.1	122.1	$\frac{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}}{\text{年間有収水量}}$

(消費税抜き数値)

経常収支比率は、維持管理費等の費用をどの程度使用料収入や一般会計からの繰入金等で賄えているかを示す指標で、100%以上となっていることが望ましく、当該年度は 111.9%となり、100%を超えた。

経費回収率は、汚水処理費をどの程度下水道使用料で賄えているかを示し、この指標が 100%以上となっていることが望ましいが、当該年度は 94.3%となり、前年度より上昇したものの 100%を下回った。

汚水処理原価は、汚水処理に係るコストを表した指標で、前年度より減少したものの 150.0円となり、同規模平均の 122.1円よりコストが高くなった。

エ 職員に関する事項

(単位：人)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減
損益勘定職員	13	13	0
資本勘定職員	6	6	0
職 員 数	19	19	0

(2) 財政状況

ア 資産・負債・資本・資金運用

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
固 定 資 産	34,281,568,786	固 定 負 債	10,141,807,202
流 動 資 産	527,296,448	流 動 負 債	887,522,449
		繰 延 収 益	20,846,438,885
		資 本 金	1,204,755,695
		剰 余 金	1,728,341,003
資 産 合 計	34,808,865,234	負 債 ・ 資 本 合 計	34,808,865,234

(消費税抜き数値)

(ア) 資産（付表 2 参照）

資産は、34,808,865,234円で、前年度と比較して、298,118,900円（0.8%）減少した。資産の内訳は、次のとおりである。

- ・ 固定資産

固定資産は、34,281,568,786円で、前年度と比較して、380,742,928円（1.1%）減少した。これは主に有形固定資産の減少によるものである。

- ・ 流動資産

流動資産は、527,296,448円で、前年度と比較して、82,624,028円（18.6%）増加した。これは主に現金預金の増加によるものである。

(イ) 負債（付表 2 参照）

負債は、31,875,768,536円で、前年度と比較して、839,923,474円（2.6%）減少した。負債の内訳は、次のとおりである。

- ・ 固定負債

固定負債は、10,141,807,202円で前年度と比較して284,328,151円（2.7%）減少した。これは主に企業債の減少によるものである。

- ・ 流動負債

流動負債は、887,522,449円で、前年度と比較して、156,335,115円（15.0%）減少した。これは主に一時借入金の減少によるものである。

- ・ 繰延収益

繰延収益は、20,846,438,885円で、前年度と比較して399,260,208円（1.9%）減少した。これは長期前受金が増加したものの、長期前受金収益化累計額の差引額が増加したためである。

(ウ) 資本（付表 2 参照）

資本は、2,933,096,698円で、前年度と比較して、541,804,574円（22.7%）増加した。資本の内訳は、次のとおりである。

- ・ 資本金は、1,204,755,695円で、前年度と比較して、387,110,210円（47.3%）増加した。これは、主に出資金及び組入資本金の増加によるものである。

- ・ 剰余金は、1,728,341,003円で、前年度と比較して、154,694,364円（9.8%）増加した。これは、主に利益剰余金の増加によるものである。

(エ) 資金運用

構築物の取得（1,087,108千円）、施設利用権の取得（27,836千円）等に要した資金は、企業債のほか、国庫補助金や一般会計からの繰入金等に由来する長期前受金等を源泉とした。

正味運転資本は、207,061千円の増加となった。当年度の資金運用状況及び正味運転資本増減状況は、次表のとおりである。

資金運用表

(単位：千円)

使 途 (資金注入)		源 泉	
項 目	金 額	項 目	金 額
構築物の取得	1,087,108	土地の減少	0
工具器具及び備品の取得	0	建物の減少	0
建設仮勘定の増加	0	建設仮勘定の減少	149,317
施設利用権の取得	27,836	現金預金の減少	0
現金預金の増加	116,988	未収金の減少	22,906
未収金の増加	0	未収金貸倒引当金の減少	58
前払金の増加	0	前払金の減少	11,400
一時借入金の減少	140,000	企業債の増加	549,300
未払金の減少	0	未払金の増加	16,011
引当金の減少	485	引当金の増加	0
長期前受金収益化累計額の減少	1,011,657	預り金の増加	37
前年度繰越利益剰余金の減少	427,528	長期前受金の増加	612,397
企業債償還金	865,526	出資金の増加	199,582
		組入資本金の増加	187,528
		当年度純利益の増加	342,222
		その他未処分利益剰余金変動額の増加	240,000
		減価償却費	1,346,370
合 計	3,677,128	合 計	3,677,128

正味運転資本増減明細表

(単位：千円)

増 加		減 少	
項 目	金 額	項 目	金 額
現金預金の増加	116,988	現金預金の減少	0
未収金の増加	0	未収金の減少	22,906
未収金貸倒引当金の増加	0	未収金貸倒引当金の減少	58
前払金の増加	0	前払金の減少	11,400
一時借入金の減少	140,000	一時借入金の増加	0
未払金の減少	0	未払金の増加	16,011
引当金の減少	485	引当金の増加	0
預り金の減少	0	預り金の増加	37
		正味運転資本の増加	207,061
合 計	257,473	合 計	257,473

イ 財務分析

区分	令和5年度	令和4年度	同規模平均 (令和4年度)	算式
流動比率 (%)	59.4	42.6	83.2	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$
企業債残高対 事業規模比率 (%)	326.1	364.7	481.8	$\frac{\text{企業債現在高合計} - \text{一般会計負担額}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金}} \times 100$

(消費税抜き数値)

流動比率は、短期的な債務に対する支払い能力を示す指標で 100%以上が望ましいが、当該年度は 59.4%となり、前年度から上昇したものの、同規模平均の 83.2%を下回った。

企業債残高対事業規模比率は、企業債残高の規模を表す指標で、当該年度は 326.1%と、同規模平均の481.8%を下回った。

3 審査意見

令和5年度の決算状況をまとめると、以下のとおりである。

(1) 業務実績

令和6年3月末時点での排水区域内人口は111,770人となり、前年度と比べ615人(0.6%)増加し、行政区域内人口に対する普及率は85.2%となった。

年間有収水量は、前年度に比べ70,854m³(0.7%)減少した。

建設・改良事業については、未普及対策事業として下水道整備五カ年計画に基づき、下ヶ戸西側地区、湖北駅北口西側地区、湖北駅北口東側地区の下水道整備を進めるとともに、久寺家1・2丁目地区の幹線整備を実施した。浸水対策事業については、布佐排水区、若松地区について、雨水幹線整備工事や雨水管整備工事を実施し、さらに柴崎排水区について、設計業務委託等を実施した。地震対策事業については、令和6年度から令和10年度までを計画期間とする我孫子市下水道総合地震対策計画(第Ⅳ期)を策定した。ストックマネジメント事業については、下水道ストックマネジメント計画に基づき、若松地区の下水道改築工事を実施した。

(2) 経理状況(消費税込み表示)

ア 収益的収支

収益総額 3,050,499,837円に対し、費用総額は 2,667,579,345円で、差し引き 382,920,492円の当年度純利益が生じた。

イ 資本的収支

収入総額は 1,367,086,660円で、内訳は、企業債が 549,300,000円、他会計出資金が 199,582,000円(うち 80,000,000円は下水道事業の財政的基盤の強化や経営の効率化・安定化を目的に受け入れた出資金)、他会計補助金が 216,223,000円、国庫補助金が 393,950,000円、負担金等が 8,031,660円であった。

支出総額は 1,877,724,272円で、内訳は、建設改良費が 1,012,197,890円、企業債償還金が 865,526,382円であった。資本的収支決算額において、601,996,612円の資本的収支不足額(翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する収入を除いた不足額)が生じた。この不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 40,697,918円、繰越工事資金 25,883,400円、当年度分損益勘定留保資金295,415,294円及び減債積立金 240,000,000円で補てんされた。

(3) むすび

令和5年度の決算状況を消費税抜きの金額でみると、事業収入は、営業収益 1,591,378,306円、営業外収益 1,271,884,457円、及び特別利益 37,363,413円で、総収益は 2,900,626,176円となった。事業費用は、営業費用 2,414,581,271円、営業外費用 143,476,932円、及び特別損失 345,399円となり、総費用は、2,558,403,602円となった。

令和5年度の下水道事業全体の当年度純利益は 342,222,574円（対前年度比 42.2%増）で黒字になった。

令和5年度下水道事業会計決算状況については、事業の総収支は黒字になったものの、依然として営業収支がマイナスであり、これを一般会計からの繰入金等（営業外収益）により補う収支構造にあることから、収益面での脆弱性が続いている。

しかし、令和4年度の下水道使用料改定により2か年連続で下水道使用料が増収となり、事業費用である流域下水道維持管理負担金や管渠の維持管理費・修繕費等が増加傾向にありながらも、徐々にではあるが収支に改善が認められる。

今後は、人口減少をはじめ、節水志向の高まりや生活環境の変化による水需要の伸び悩みなどにより、下水道使用料収入の自然増が見込めないという課題も踏まえ、より厳しくなる財政状況を想定したうえで、下水道整備に伴う水洗化の促進はもとより、コロナ禍の収束に伴う排水需要の変化や昨今の社会経済情勢の変化などを的確に捉え、職員一人ひとりが経営の状況と課題をしっかりと認識し、引き続き、一丸となって経営の戦略を講じ、持続可能で安定した事業経営を行えるよう努められたい。

決 算 審 査 資 料

付表 1

総収益総費用比較表

収 益 (単位：円・%)

区 分	令和 5 年度			令和 4 年度		
	決算額	構成比	前年比	決算額	構成比	前年比
営業収益	1,591,378,306	54.9	101.5	1,567,711,160	53.5	110.2
下水道使用料	1,501,120,306	51.8	100.8	1,489,601,600	50.9	110.4
雨水処理負担金	89,711,000	3.1	115.8	77,496,000	2.6	105.5
その他営業収益	547,000	0.0	89.2	613,560	0.0	172.8
営業外収益	1,271,884,457	43.8	94.6	1,344,993,984	46.0	112.8
他会計補助金	259,968,000	8.9	92.6	280,650,000	9.6	151.8
長期前受金戻入	1,011,656,743	34.9	95.2	1,062,485,533	36.3	105.5
雑収益	259,714	0.0	14.0	1,858,451	0.1	676.1
特別利益	37,363,413	1.3	251.6	14,848,656	0.5	8.9
過年度損益修正益	37,363,413	1.3	251.6	14,848,656	0.5	8.9
総収益	2,900,626,176	100.0	99.1	2,927,553,800	100.0	105.2

(消費税抜き数値)

* 構成比は、総収益を100としての比率

付表 1

総収益総費用比較表

費 用

(単位：円・%)

区 分	令和 5 年度			令和 4 年度		
	決算額	構成比	前年比	決算額	構成比	前年比
営業費用	2,414,581,271	94.4	99.7	2,422,851,488	90.2	104.5
管渠費（污水）	63,479,155	2.5	104.0	61,040,890	2.3	144.6
管渠費（雨水）	10,737,000	0.4	145.0	7,403,000	0.3	168.5
ポンプ場費（污水）	9,634,860	0.4	105.4	9,143,533	0.3	103.7
ポンプ場費（雨水）	19,261,508	0.8	98.5	19,547,400	0.7	116.7
流域下水道費	791,092,194	30.9	99.0	798,710,287	29.7	111.6
普及指導費	600,164	0.0	92.1	651,704	0.0	98.2
業務費	95,029,618	3.7	101.2	93,899,136	3.5	98.5
総係費（污水）	72,838,529	2.9	85.5	85,207,310	3.2	93.0
総係費（雨水）	5,537,997	0.2	113.4	4,885,569	0.2	75.7
減価償却費	1,346,370,246	52.6	100.3	1,342,362,659	50.0	100.4
営業外費用	143,476,932	5.6	93.9	152,744,040	5.7	88.0
支払利息	125,369,420	4.9	93.8	133,598,067	5.0	91.7
雑支出	18,107,512	0.7	94.6	19,145,973	0.7	68.3
特別損失	345,399	0.0	0.3	111,310,686	4.1	20083.9
過年度損益修正損	345,399	0.0	128.3	269,252	0.0	48.6
固定資産売却損	0	0	皆減	111,041,434	4.1	皆増
総費用	2,558,403,602	100.0	95.2	2,686,906,214	100.0	107.7

(消費税抜き数値)

* 構成比は、総費用を100としての比率

付表 2

比較貸借対照表

(単位：円・％)

区 分	借			方		
	令和 5 年度			令和 4 年度		
	決算額	構成比	前年比	決算額	構成比	前年比
固定資産	34,281,568,786	98.5	98.9	34,662,311,714	98.7	98.4
有形固定資産	31,145,140,005	89.5	99.2	31,383,478,731	89.4	98.7
無形固定資産	3,133,428,781	9.0	95.7	3,275,832,983	9.3	95.9
投資その他資産	3,000,000	0.0	100.0	3,000,000	0.0	100.0
流動資産	527,296,448	1.5	118.6	444,672,420	1.3	94.1
現金預金	173,435,415	0.5	307.3	56,447,154	0.2	32.8
未収金	224,304,015	0.6	90.7	247,209,958	0.7	114.7
未収金貸倒引当金	△ 1,342,982	0.0	104.5	△ 1,284,692	0.0	101.6
前払金	130,900,000	0.4	92.0	142,300,000	0.4	165.1
資産合計	34,808,865,234	100.0	99.2	35,106,984,134	100.0	98.3

(消費税抜き数値)

付表 2

比較貸借対照表

(単位：円・%)

区 分	貸			方		
	令和 5 年度			令和 4 年度		
	決算額	構成比	前年比	決算額	構成比	前年比
負債	31,875,768,536	91.6	97.4	32,715,692,010	93.2	97.2
固定負債	10,141,807,202	29.1	97.3	10,426,135,353	29.7	96.7
企業債	10,141,807,202	29.1	97.3	10,426,135,353	29.7	96.7
流動負債	887,522,449	2.5	85.0	1,043,857,564	3.0	91.1
一時借入金	0	0.0	0.0	140,000,000	0.4	70.0
企業債	833,628,151	2.4	96.3	865,526,382	2.5	96.2
未払金	42,965,072	0.1	159.4	26,953,553	0.1	75.4
引当金	9,920,408	0.0	95.3	10,406,000	0.0	105.9
預り金	1,008,818	0.0	103.8	971,629	0.0	145.3
繰延収益	20,846,438,885	59.9	98.1	21,245,699,093	60.5	97.7
長期前受金	24,894,363,111	71.5	102.5	24,281,966,576	69.2	102.1
長期前受金収益化累計額	△ 4,047,924,226	△ 11.6	133.3	△ 3,036,267,483	△ 8.6	149.4
資本	2,933,096,698	8.4	122.7	2,391,292,124	6.8	117.8
資本金	1,204,755,695	3.5	147.3	817,645,485	2.3	175.7
固有資本金	145,702,771	0.4	100.0	145,702,771	0.4	100.0
出資金	510,750,000	1.5	164.1	311,168,000	0.9	163.7
組入資本金	548,302,924	1.6	152.0	360,774,714	1.0	278.5
剰余金	1,728,341,003	5.0	109.8	1,573,646,639	4.5	100.6
資本剰余金	1,145,660,591	3.3	100.0	1,145,660,591	3.3	100.0
利益剰余金	582,680,412	1.7	136.1	427,986,048	1.2	102.3
負債資本合計	34,808,865,234	100.0	99.2	35,106,984,134	100.0	98.3

(消費税抜き数値)